

みなみさんりく 議会だより



No. 69

令和5年5月1日発行

特集

令和5年度当初予算

P2

宮城県南三陸高等学校

《表紙》

新年度から校名が変わり、また新たな歴史を紡いでいく南三陸高校。登校坂の桜が優しい風に揺れる。

- 南三陸311メモリアルの料金見直し — 〈議案審議〉 P 8
- 企業版ふるさと納税見込み下回る — 〈補正予算〉 P 9
- ALPS 処理水に意見書提出 — P11
- 派遣職員には賠償求めず — 〈臨時会議〉 P12
- 漁協と意見交換会 — 〈特別委員会〉 P14
- 議案一覧 — P16
- ここが聞きたい! — 〈一般質問〉 P18
- まちづくりへの提言 — 〈委員会報告〉 P30

令和5年度
当初予算

最少の人員と時間で最大の効果を

一般会計予算

106億8千万円

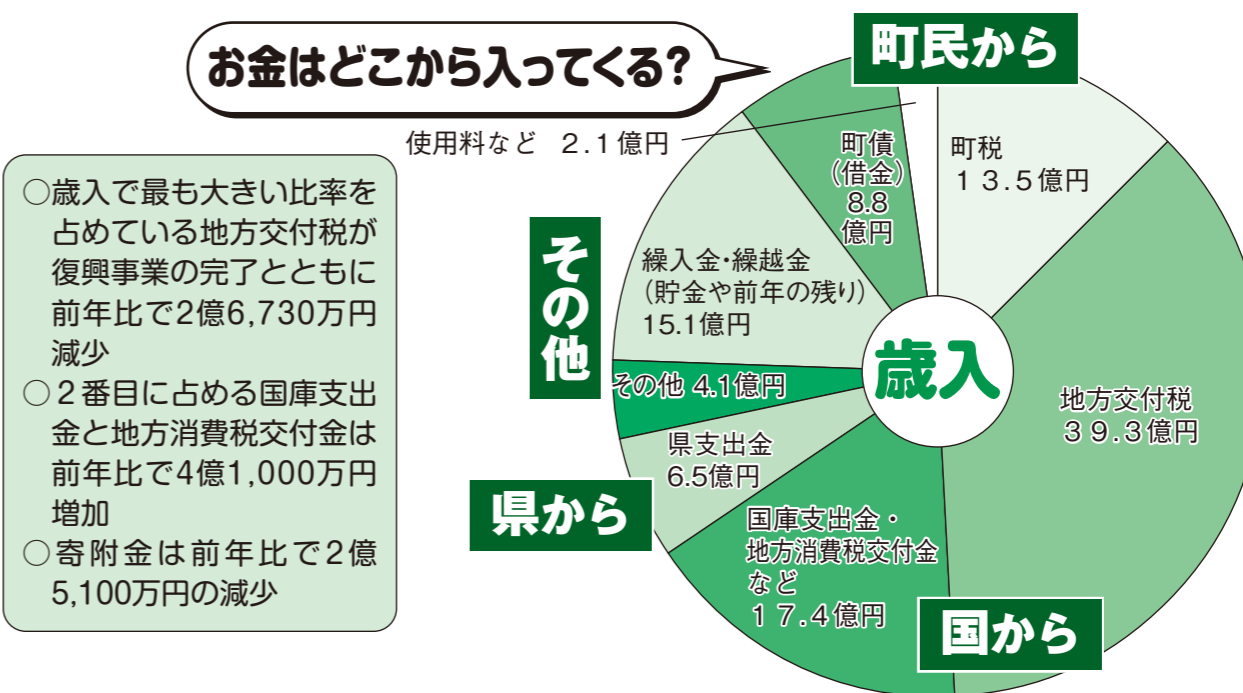
(前年比 ±0%)

通常分
96億
5千万円

震災復興分
10億
3千万円

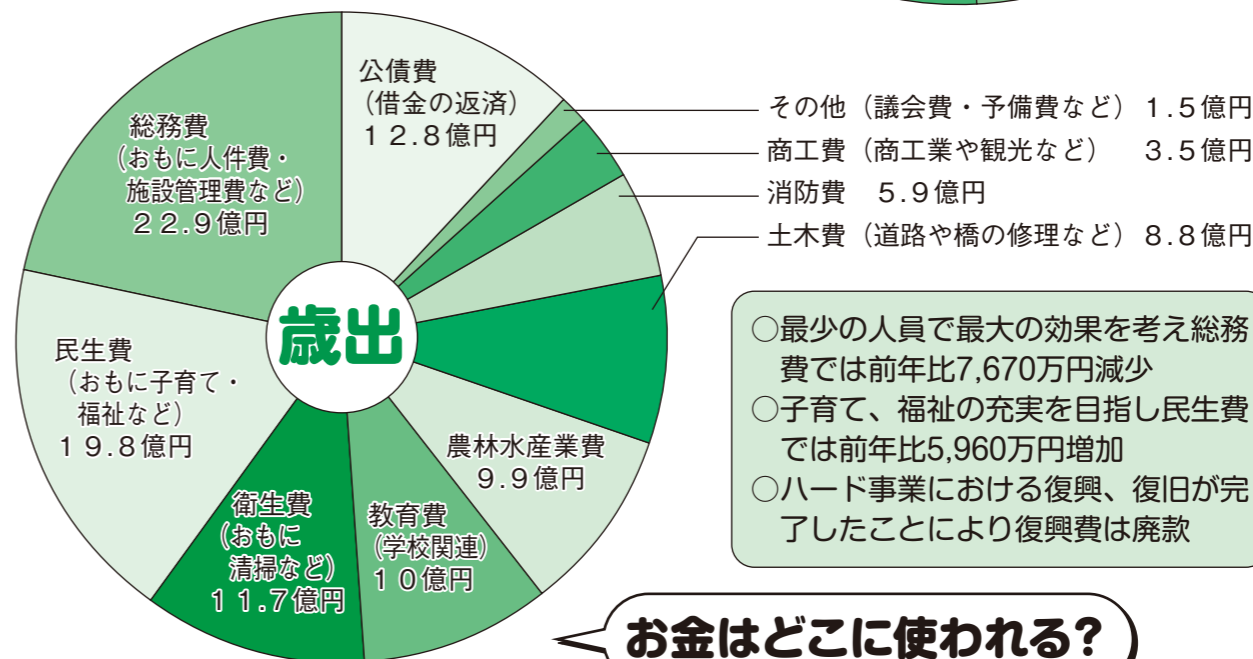


お金はどこから入ってくる?



- 歳入で最も大きい比率を占めている地方交付税が復興事業の完了とともに前年比で2億6,730万円減少
- 2番目に占める国庫支出金と地方消費税交付金は前年比で4億1,000万円増加
- 寄附金は前年比で2億5,100万円の減少

お金はどこに使われる?



- 最少の人員で最大の効果を考え総務費では前年比7,670万円減少
- 子育て、福祉の充実を目指し民生費では前年比5,960万円増加
- ハード事業における復興、復旧が完了したことにより復興費は廃款

町長の4つの主要方針

総括的質疑

① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策

国の方針により新型コロナウイルスがインフルエンザ同様の5類の扱いになるが、町では今後も引き続き最大限の対策を講じる。

② 地域経済の回復

コロナ感染拡大で経済が停滞し、国際競争により原油価格・物価が高騰。一次産業、商工業、観光業などが厳しい状況におかれた。今後開場されるうみべの広場、ハマレ広場を活用し、地域経済の活性化を図る。

③ 人づくりから始まるまちづくり

復旧復興の完了を機に、今後は未来を見据えた持続可能なまちづくりを本格的に進めていく。具体的取り組みとしては、実際に地域で活動していく各分野のリーダーを養成するための人材育成塾を運営し、未来への投資を推進。

④ 子育て環境の充実

当町においても出生率が減少傾向にあり、今後は地域ぐるみで子育てができる環境づくりを考え、小中学校の給食費無償化や妊娠・出産に係る経済的不安を軽減するため、伴走型相談支援の取り組みを実施する。



伊藤 俊 議員

問 南三陸町は資源に恵まれた町だが、地域を牽引するリーダーも必要だ。それを支える町民総意の体制づくりも必要では。

答 町づくりには地域資源も含め、町の宝として展開するリーダーが



後藤伸太郎 議員

問 人づくりから始まるまちづくりではどのような世代のどのような人材を育てようと考えているか。

答 合併当初から地域で活躍してきたリーダーがいたが、今後も各分野で将来を担えるよう人材育成を図りたい。

問 人件費にかかるコストカットは大丈夫か。

答 今後も事業精査の上、取り組んでいく。

問 行政組織だけでは無理があり、町民の協働も必要では。

答 施政方針で示したように協力をお願いしたい。



今野雄紀 議員

問 地域経済の回復となるその手法についてどう取り組むか。

答 役場は年間100億円のお金を使う地域の最大企業ともいえるが、この資金を地域内で使用することにより資本の循環が起こり経済が活性化される。一度町外に出て

いったお金は町内で循環することはなく、このことは職員も認識していると思う。

特別会計

会計区分	予算額	前年比
国民健康保険特別会計	20億9,000万円	+9.4% (1億8,000万円)
後期高齢者医療特別会計	1億5,900万円	+5.3% (800万円)
介護保険特別会計	15億9,560万円	-0.4% (640万円)
市場事業特別会計	6,800万円	+83.8% (3,100万円)
水道事業会計	9億5,504万円	-13.2% (1億4,567万円)
下水道事業会計	2億2,273万円	
病院事業会計	21億6,015万円	+3.8% (8,060万円)
訪問看護ステーション事業会計	4,600万円	-9.8% (500万円)

《一般会計》

歳入

今後増える見込みは、

〈地方交付税〉

問 (及川幸子委員) 地方交付税は人口で左右されるが、今後5年間の人口推移の見通しは。

答 人口だけが係数ではないが、人口が増える見込みはない。震災による人口急減補正が、年度ごとに減少していく。燃料、電気の高騰による国の予算については、希望的観測になる。

「こども家庭庁」に期待するものは、

〈国庫支出金〉

問 (三浦清人委員) 国の具体的な動きが明確になっていないが、当町の子育て施策に必要なものは。

答 これから様々な提案がなされる。適意対応していく。

補助の有効活用を

〈国・県支出金〉

問 (伊藤俊委員) 観光庁予算には官民連携予算もある。町の考えは。

答 事業者が中心となり地域にどれだけの効果があるのか、自治体としてどのような連携が必要かを十分に検討し取り組む。

分収林の今後は

〈諸収入〉

問 (高橋尚勝委員) 分収林契約から80年経過しているところがある。伐採後、返納の意向のようだが、町の対応は。

答 伐採の際は担当課へ相談してほしい。返納に関しては別個相談になる。

焦点はここ

複数委員が質疑 高校寮の運営は

問 (伊藤俊委員) 高校寮賃借料の仕組みは。

答 町有地に民間が寮を建設した。その寮を町が借り上げ運営する。関連経費の2分の1が、国からの補助を受けられる。入寮費は、5万5千円。

問 寮の運営の収支バランスは。

答 事業費全体で7千万円のうち、2千万円の手出しになる。ふるさと納税等を利用し充当する。

問 (須藤清孝委員) 寮の管理体制と生徒の健康面に対するサポート体制は。

答 24時間を交代制で3名配置した。基本は寮の管理体制で行なうが、不測の場合は町でサポートする。

問 学力の向上と進学は学校の魅力の一つである。志翔学舎利用による国立進学の推移は。

答 運営を進めるうえで、基礎的な学習の必要性が見えてきた。工夫を凝らし利用実績は伸びているが、国立進学の詳細は把握していない。

問 (三浦清人委員) 高校寮の評価額の基準は。

答 評価内容に対し見積もりを受け契約した。寮の機能として妥当な金額と判断した。

高校寮管理運営委託料…1,660万円／高校寮賃借料…2,509万円

歳出

再任用職員への評価は

〈総務費〉

問 (阿部司委員) 再任用は経験も豊富で貴重な人材である。査定方法は。

答 再任用にも役職があり、若手職員とバランスを考慮し配置している。一般職員同様、評価シートを用いて評価している。

人材育成塾の細部は

〈総務費〉

問 (今野雄紀委員) どのような方向性を想定しているのか。

答 塾のマネジメントを含め委託する。年間を通じ、講座形式を考えている。

単独槽の状況改善は

〈衛生費〉

問 (須藤清孝委員) 環境への影響も懸念される単独槽を所有する家庭が、町内に100戸あると伺っているが、対策は。

答 くみ取りも含め、新年度から5年間、合併浄化槽の補助対象として推進していく。

焦点はここ

複数委員が質疑 南三陸311メモリアル指定管理委託料は

問 (須藤清孝委員) ハマーレ広場を活用した、商店街との一体的な賑わいづくりは。

答 コロナによる影響は大きかったが、昨年から盛り返しつづける。広場のオープン起爆剤として後方支援していく。

問 道の駅の総合管理のあり方をどのように考えているのか。

答 現場に窓口があるのが理想的だが、現在は、まちづくり未来観光協会、商工観光課で連携を取っている。今の状態も含め、一本化が良いのかを継続検討している。

問 (今野雄紀委員) プログラム制作を指定管理料に含められないのか。

答 町民のロングインタビューを89名、91本所有し、26名分使用している。指定管理者、専門家の意見を交え、町が主体となり制作していく。

問 (及川幸子委員) ハマーレ広場の管理内容とオープニングセレモニーの積算根拠は。

答 総合支所にて管理し、清掃業務や芝の管理を委託する。セレモニーは、地域の方々を中心に60名程度を予定し、テープカットや設備の設置、運搬の経費を見込んでいる。

南三陸311メモリアル指定管理委託料…1,780万円／
ハマーレ広場管理業務委託料…128万円

放課後児童クラブの予算増の内容は

〈民生費〉

問 (今野雄紀委員) 志津川地区、歌津地区の定員増による増改築とのことだが、受け入れ希望者に対し充足するか。

予算はどう使われるのか

トロッコスクール更新を 〈衛生費〉

問 (菅原辰雄委員) クリーンセンター利用者に支障なく工事できるのか。
答 住民に迷惑が掛からないよう配慮し、業者と進めていく。

漁業認証に新たな動き 〈農林水産業費〉

問 (阿部司委員) 風評被害が懸念される中、ブランドイメージは効果がある。積極的な支援を。
答 志津川カキ部会、戸倉ギンザケ部会がASCの取得を目指している。それに合わせ、流通面の認証取得に加工会社2社を予定している。今後も、消費者に選ばれる水産物を重視し施策を展開する。

タケ放流、海がら? 〈農林水産業費〉

問 (三浦清人委員) 北海道からの移入卵の放流は海からと指定されていると伺ったが、川から放流できないものか。
答 200万粒のうち、海中飼育と孵化場飼育がそれぞれ100万粒ずつで、全て海へ放流済みである。新年度において川からの放流に対応する。



町のみでの産卵が望ましいが

汚染牧草の保管農家への支 援を 〈農林水産業費〉

問 (佐藤雄一委員) 10年も保管している農家へ、管理料を出せないのか。
答 4年前、まき直し作業を行なった際のみ支払いと記憶している。国の補助事業のため、処理費として優先されている。

ブルーフラッグ認証の進捗 は 〈商工費〉

問 (伊藤俊委員) 評価基準クリアの進捗は。
答 サンオーレのバリアフリー工事を予定している。国内審査を通過しており、国際機関への審査に向け最終調整している。

志津川川の登校坂修繕を 〈土木費〉

問 (須藤清孝委員) 道路、歩道ともに傷んでおり管理が行き届いていない。改良の予定はないのか。
答 通学路であり、避難路としても重要な町道だ。速やかに現地確認し、子どもたちの安全を守るよう修繕する。



車止めも折れ、放置されてる通学路

学校の働き方改革、現場の 声は 〈教育費〉

問 (三浦清人委員) 教職員は厳しい労働条件のもとで働いている。法の整備が必要と思うが、勤務のあり方について教育長の所感を伺う。
答 時間外勤務を減らすよう努めているが、小手先で終わらない状況である。職務を変えていく事に關しては、平成31年中教審が答申を出しており、国や周辺の動向を踏まえながら取り組んでいく。

台風、豪雨災害からの復旧 急げ 〈災害復旧費〉

問 (佐藤正明委員) 台風19号と7月豪雨の2回の災害にあった、せせらぎ水土里公園(みどりこうえん・林蔭)が未だ手付かずだ。今後の考えは。
答 県の補助事業で行なった施設であり、関係機関と協議したが予算が取れなかった。建設課と協議し早急に撤去する。

21kmの復旧、いつ まで 〈災害復旧費〉

問 (今野雄紀委員) 復旧完了の見込みはいつ頃か。
答 母屋だけでも、ひび割れ箇所が百カ所以上ある。他施設も含め年度内の完了を目指す。

《特別会計》

検診受診率向上を 〈国民健康保険〉

問 (及川幸子委員) 特定検診事業におけるデータの積み上げと分析は大事なことだ。次年度へどのように活かすのか。
答 平成30年度から令和5年度までの計画であり、6年度からの実施になる。データをもとに、効果的な受診率の向上や町民の疾病の動向をはかれる。より高い受診率の向上を目指し取り組む。

新しい養殖品目は 〈市場〉

問 (今野雄紀委員) 養殖業の好調、不調は年度ごとに違いがある。今後見込める新たな養殖は。
答 9月に区画の一斉切り替えが予定されているが、新しく組み込まれる品目等は予定されていない。

会計待ち時間の短縮は 〈病院〉

問 (三浦清人委員) 待ち時間の改善はできないか。
答 システムの更新だけでなく、人手による流れの見直しも含め検討する。

入谷公民館に自販機を 〈教育費〉

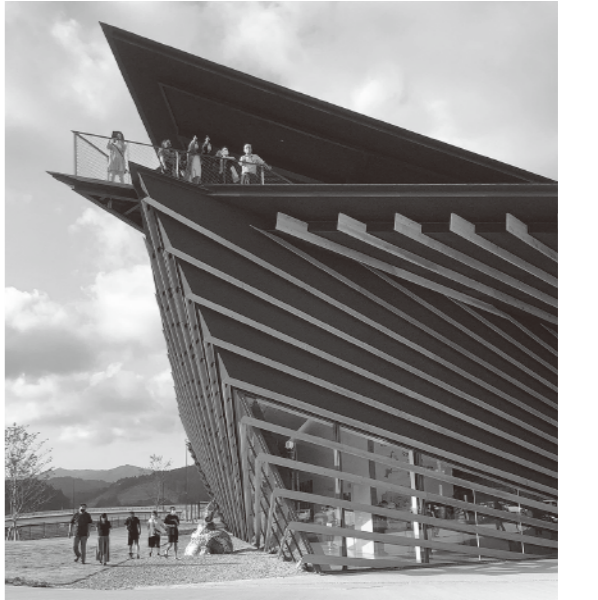
問 (佐藤雄一委員) 自販機の設置要望が出ている。検討は可能か。
答 戸倉公民館も含め会議時の需要もある。業者と相談し検討する。

施設利用者の動向は 〈介護保険〉

問 (及川幸子委員) 町内外の施設利用者の状況は。
答 施設においてクラスターの事例があり、入所、利用等を控えてもらっていた。施設各所に特徴があり、利用者の比率は違う。待機もいるが、長い期間待つという状況ではない。



南三陸311 メモリアルの料金見直し



原則1年まで入居可能
火災等に遭った際の公営住宅

災害被災等で住居を失った住民に対し一時的に町営住宅を提供できる期間を、原則1年まで可能とする条例改正を行いました。

問 (伊藤俊議員) 既に予約済みの団体等への周知、対応は。
答 従前の内容で対応する。

問 (後藤伸太郎議員) 町民の皆さまの学ぶ機会など創出の考えは。
答 より活用できるように会員制度のようなものを作ることも検討している。

問 (伊藤俊議員) 空き戸の住居以外活用策検討は。
答 今後有効活用策の一つとして検討する。



入谷復興住宅

昨年10月にオープンした震災伝承施設について、さらに利用促進を図るための料金見直しを町より提案され、条例改正により6月から変更となります。

問 (今野雄紀議員) 6月1日から変更になる理由は。
答 WEBのシステム改修などの関係上や事務処理も含めて時間を頂くため。

**出産育児一時金
現行から8万円の増額**

問 (三浦清人議員) 健康保険法施行令の改正に伴い、出産時に支給される一時金が8万円増額され、令和5年4月1日より一律50万円に変更される。

**荒砥小学校体育館
解体工事了**

問 (及川幸子議員) 体育館の跡地は駐車場として整備されたが、有料利用にする考えはないか。
答 今後の利用については調整を進めていく。



荒砥小学校体育館跡地・駐車場

正算
補予
3月定例会議

企業版ふるさと納税 見込み下回る



問 (後藤伸太郎議員) 今回の補正で1,500万円減額されているが。
答 見込み額を大きく下回り、現在200万円ほど。コロナの影響も大きいと思う。

問 これを原資におこなう事業は予定どおり進められるのか。
答 一度基金に積み、移住促進の施策に充てる予定。「南三陸未来チャレンジ」という取り組みもおこなっており、地域づくりに対して寄付企業からの事業提案も受け付けている。また、寄付集めの営業活動は外部委託しており、成功報酬制なので委託料も減額した。

新条制定
環境
省エネ
調和
を目指す

豊かな自然環境を守るため、再生可能エネルギー発電事業を進める際の必要な事項を条例で定め、美しい景観保全と災害の未然防止を図っていきます。

問 (後藤伸太郎議員) 宮城県も同様の条例を制定したが、その効果は。
答 県と同一歩調でダブルチェックしていく効果がある。

問 (伊藤俊議員) 抑制区域の指定はしっかりなされているか。
答 他市町村と歩調を合わせ、今後も臨機応変に対応していく。



入谷 里山の風景

議員の
不祥事による町民負担は

年度末の補正予算に関連してこんな質疑も。消防防災施設の不適正事務、町補助金の不正流用による損害額は？

問 (三浦清人議員) 二つの不祥事による町民負担はどれくらいか。町の損害、と言うと誤解を招く。町民の負担、とはつきりさせるために質問する。
答 本来得られるはずだった収入を得られなかった消極的損害を含めて、約8,200万円である。

業務委託のあり方は

問 (今野雄紀議員) 多くの業務委託があるが、丸投げになっていないか。
答 本来、町の職員でやることを専門性等に鑑み委託しているもの。丸投げしないよう肝に銘じる。

**国からの給付金で
出産・子育てを応援**

国が創設した交付金により、妊娠・出産・育児期間における伴走型の相談支援と、経済的支援を一体として実施するもの。令和4年4月以降に産まれた子ども一人に対し、妊娠届、出産届それぞれで5万円、計10万円ずつを給付する。

問 (伊藤俊議員) 給付の開始時期はいつ頃か。
答 昨年4月までさかのぼって給付になるが、アンケートの実施が必須なため、今その内容を調整中。令和5年4月以降に実施の予定。その際は、一人につき10万円を一括で給付する。

意見書を提出しました

1月31日に開かれた「産業団体と議会との意見交換会」(P.14)の中で、ALPS処理水の海洋放出による風評被害に対して、強い懸念が示されました。

議会も同じ想いです。関係機関に対して、以下の意見書を提出しました。

東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出に関する十分な説明と風評被害の対策を求める意見書

政府においては、「多核種除去設備(ALPS)で処理されたトリチウム以外の核種について、環境放出の際の規制基準を満たす水(ALPS処理水(以下「処理水」という。))」の処理について、令和3年4月、これを海洋放出する基本方針を策定し、本年の春から夏ごろに放出を開始するとのことである。

この処理水の海洋放出は、当町においても漁業関係者のみならずその関連産業に従事する多くの町民にも多大な不安を与える非常に重大な事案である。

東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けながらも、筆舌に尽くしがたい苦労とたゆまぬ努力の積み重ねにより、ようやく生業を立て直し、水産物のブランド価値向上の取組といった将来に向けた展望も描ける段階にまできた“復興途上”の現状において、今般の処理水の海洋放出は、海を生業の場とする“漁民の心”が折られる決定であるとも言え、また、当町の基幹産業である漁業の後継者の確保といった課題にも悪影響を与えるものであり、ひいては町内の関連産業の衰退につながることも強く懸念される事態であることから、南三陸町議会として国に対し、下記の実現を強く要望する。

- 1 国が「安全」として推進する処理水の海洋放出が、多くの国民に「安心」と理解されるように、漁業者、そして、水産物の消費者である国内・国外の多くの方々に対し、あらゆる機会を設けて、説明を尽くすこと。
- 2 全国漁業協同組合連合会をはじめとした多くの漁業関係団体が処理水の海洋放出に反対の意思を示していることに十分に意を用いるとともに、その切実な意見を丁寧に傾聴すること。
- 3 その上で、風評を生じさせないための対策を講じるとともに、万が一にも水産業をはじめとした各種産業の事業者にも風評被害が発生した場合においては、直接的であるか間接的であるかを問わず、また、地域、業種を選ばず、幅広くその対象とするよう東京電力等に対し強く要望すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月24日

宮城県南三陸町議会議長 星 喜美男

内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様

新副町長に三浦浩氏

人事案は無記名投票で

3月定例会議に追加提案された2件の人事案件について、議長発議によって無記名投票での採決となりました。厳粛な雰囲気の中で投票がおこなわれ、いずれも賛成多数で同意されました。

議会での採決方法

- ① 起立採決
議会の採決は原則として起立採決。賛成者が起立する。討論がないなど、全員の賛成が見込まれる場合は簡易採決となる。
- ② 簡易採決
議長が原案可決で良いか口頭で宣告し、異議がなければ可決される。
- ③ 投票による採決
人事に関する問題等で起立採決が適当でない場合におこなわれる。



副町長

三浦 浩氏

略歴
昭和55年に歌津町役場に入庁し、以来、町職員として保健福祉課長、会計管理者などを歴任し、令和4年に退職。

監査委員

横山 孝明氏

無記名投票の結果
賛成 9票

反対 3票

賛成多数により
同意

無記名投票の結果
賛成 8票

反対 4票

賛成多数により
同意

陳情・請願の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

- 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情
- 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

以上の2つの陳情については、議員に配布しました。

町補助金の不正流用問題に関する調査特別委員会

賠償責任に関し特別委で審議

派遣職員には賠償求めず

南三陸町農山村地域活性化対策事業費補助金に関する不正流用事案に係る損害額確定に伴う町職員の賠償について、このうち派遣職員1名の賠償責任を免除することの議会の同意を求めるもの。

町の損害額……………1,529万円
町の責任額(50%)……………771万円

派遣職員1名より賠償額(7万2千円)免除の申し立てがあり、町監査委員からこれを是とする報告書が町に提出されていた。本件について既に設置されていた町補助金の不正流用問題に関する調査特別委員会において審査を行った。

問 (後藤伸太郎委員) 本申立人以外免除の申し出はなかったか。

答 派遣職員でもう一方いたが消滅時効のため免除の案件にならなかった。

問 (今野雄紀議員) 正職員と派遣職員の賠償金額の割合は。

答 町が負うべき額に対し50%を正職員が、更にその半分を派遣職員が負う。

問 (三浦清人委員) 免除の申し立てをしない正職員の扱いにも配慮を。すべての職員に負担させるべきでない。

答 監査委員の検討結果にもとづく方向であり、これを受け止めた対応である。全員の免除は申立がない以上出来ない。

反対 (今野雄紀議員)

免除するなら全員の職員の賠償を免除すべき。よって反対である。

討論

賛成 (後藤伸太郎議員)

震災復興応援の職員に賠償を求めることは不適當である。よって賛成である。

可決

起立採決の結果
賛成 9人
反対 2人

ギンザケの水揚げ用に魚類選別機導入

問 (及川幸子議員) 1社の見積りによる随意契約であるが、複数社による競争契約は出来なかったか。

答 今回見積りでの選別機を扱っている業者は県内で(株)シー・テック1社のみである。メンテナン斯拉ンニングコストを考えると随契は妥当だ。

問 (今野雄紀議員) この選別機はギンザケ以外に使用できるか。

答 タラ、カツオ等にも使用できる。

問 ギンザケ養殖への新規参入希望者はあるか。

答 今のところない。希望者があれば漁協と連携して対応したい。



新機種設置は5月ごろの予定

町道で転落事故
その後の対応は

町道弥惣線で走行中の軽自動車がわだちにはまり抜け出そうと前後進を繰り返すうちに誤って路肩下の休耕地に転落した。全損した車両の賠償額を40万円と和解するもの。

問 (及川幸子議員) 保険の適用はどのようなになっているか。

答 町に29万2千円程支給されるが40万円の賠償額である。

問 (佐藤正明議員) この路線で同様な2件の事故が起きている。どう処理されたか。

答 今回は賠償請求されたが、他の2件は請求されなかった。

れなかった。

問 通行止めの措置や維持管理に問題があったのではないか。

答 順次維持補修に努めている。

問 (今野雄紀議員) 町道弥惣線は現在通行できるか。

答 現在通行止めになっている。当町側、登米市側ともに通行止めを設置している。

問 いつ通行可能になるか。

答 災害工事後完了後になるが今は分からない。
問 (伊藤俊議員) 事故発生から和解までに時間が掛かりすぎるのでは。
答 町に一定の過失責任がある以上、真摯に対応してきた。

議会のうき

東日本大震災対策特別委員会

庄内町議会と合同研修会

コロナ禍でしばらくの間中断されていた、庄内町議会との合同研修会が1月19日の午後開催されました。短時間ではありますが、有意義な意見交換が行われ、その後親睦の懇親会が持たれました。



産業団体との意見交換会開催

(県漁協志津川支所・歌津支所)

以前は議会が各地域に向いての住民懇談会を実施してまいりましたが、活発な意見を求めるため、最近は各種産業団体との意見交換会に切り替えて実施しました。
今回は県漁協の志津川支所の皆さん9名・歌津支所の皆さん6名に出席をいただいていた活発な意見が交わされました。

参加者の方々からのご意見

- ①東京電力福島第一原子力発電所からのALPS処理水の海洋放出に対する重大な懸念
- ②志津川魚市場に思うこと
- ③秋サケの不漁

【志津川支所・歌津支所ともに】

- ◇風評被害が懸念される。
- ◇ALPS処理水は長期にわたり放出される。
- ◇「安全」と「安心」は違う。
- ◇漁業を廃業することのないよう、漁業者も安心できる環境づくりが重要。

【志津川支所】

- ◇市場価格を上げるために買受人を増やす方策が必要。
- ◇大規模な冷凍庫や水産加工場の誘致が必要。
- ◇町、買受人、漁協、漁業者の協力が不可欠。
- ◇回帰率が大幅に減少している。
- ◇漁の維持、存続のための取り組みが必要。
- ◇よそから持ってきた卵では飼育が上手くいかない。
- ◇放流事業のテコ入れだけではなく、ふ化放流施設の活用策や、画期的な対策を打ち出せないか。

- ④燃油高騰対策に思うこと
- ⑤その他

【歌津支所】

- ◇補助の対象期間が繁忙期ではない時期（たくさん燃油を使う時期ではない期間）となっていた。
- ◇今後はこの対象期間をよく考えてほしい。
- ◇船の大きさを補助額を分けるのではなく、実費ベースにという考え方もあったのでは。
- ◇担い手不足、後継者不足に對しての補助を。
- ◇地元の店舗でもっと地場産品を扱えるようになりませんか。
- ◇防潮堤で囲まれた漁港内の防犯対策として、防犯カメラや防犯灯の設置をお願いしたい。

議会としての対応

①に對して

意見書を提出
国に對し、皆様の懸念を受け止めた意見書を送付するとともに、議会の予算審議等において、漁業関係者の方々の思いも踏まえ、町当局の対応を質してまいります。

②・③に對して

議会の予算審議等において、漁業関係者の方々のご意見も踏まえ、町当局の対応を質するとともに、必要に應じ、議会の常任委員会において調査を行ってまいります。

④に對して

議会の決算審査において、漁業関係者の方々のご意見も踏まえ町当局の対応を確認いたします。

⑤に對して

必要に應じて検討いたします。

議会では、みなさんから頂戴したご意見を自分ごととして捉え、
議会、そして議員として対応してまいります。
貴重なご意見、ありがとうございました！



志津川支所の方々と



歌津支所の方々と



出席者からの意見

1月臨時会議 ※議員派遣の決議のみのため短時間で散会

2月臨時会議 議案一覧 4件 (財産1件、賠償2件、予算1件)

財産	議案第65号	魚類重量選別機を、2,960万円で、(株)シー・テック(気仙沼市)から購入。→P.13
賠償	議案第66号	令和4年8月の車両転落事故、40万円の賠償で和解。→P.13
予算	議案第67号	令和4年度一般会計補正予算(第6号)。→P.9
賠償	同意第3号	町補助金の不正流用問題に関する当時の担当職員の賠償責任について、派遣職員1名分7万円を全額免除。→P.12

3月定例会議 議案一覧 48件

(人事2件、条例12件、工事6件、財産5件、賠償1件、予算17件、発議2件、その他3件)

条例	報告第9号	保育所条例等を改正した専決処分の報告。
条例	議案第68号	環境と再生可能エネルギーの調和条例を制定。→P.8
条例	議案第69号	職員給与と条例を改正。定年延長のため一部の手当支給期間を延長。
条例	議案第70号	財産譲渡等の条例を改正。災害等で住居を失った住民への公営住宅の提供ルールを定める。→P.8
条例	議案第71号	国保条例を改正。出産一時金を50万円に引き上げ。→P.9
条例	議案第72号	道路占用料条例を改正。上位法改正により15%ほど値上げ。今後設置する占用物に適用。
条例	議案第73号	漁港、河川占用料条例を改正。72号と同じ内容。
条例	議案第74号	特定教育・保育施設に関する条例改正。上位法改正により安全計画の策定などを義務付け。
条例	議案第75号	震災伝承館条例を改正。シアターを視聴しない入場者に対応するため、入場料と区分を見直し。6月から施行。→P.8
条例	議案第76号	地域復興基金条例を廃止。県の交付金を財源に、203事業に16億円以上を充当してきたが、復興事業の終了のため廃止に。
工事	議案第77号	石浜地区防波堤整備工事を、(株)阿部伊組と1億6,000万円で工事請負契約締結。工期は繰り越し、令和5年12月完了予定。
工事	議案第78号	旧荒砥小学校体育館解体工事を、志津川建設(株)と520万円減額し、8,610万円で変更契約締結。工期は令和5年3月24日まで。→P.9
工事	議案第79号	入谷横断1号線改良工事を、阿部藤・サトーJVと3,400万円増額し、1億7,700万円で変更契約締結。工期は令和5年3月31日まで。
工事	議案第80号	蒲の沢2号線等改良工事を、(株)阿部伊組と1,080万円減額し、5億3,730万円で変更契約締結。工期は令和5年3月24日まで。
工事	議案第81号	小森熊田線改良工事を、(株)丸正工業と710万円増額し、9,840万円で変更契約締結。工期は令和5年3月20日まで。
工事	議案第82号	ハマレ広場整備工事を、(株)阿部伊組と790万円増額し、3億7,430万円で変更契約締結。工期は令和5年3月24日まで。
財産	議案第83号	町道路線(戸倉地区波伝谷線)の変更認定。
財産	議案第84号	新たに生じた土地(歌津地区稲淵漁港物揚場、陸側)の確認。
財産	議案第85号	新たに生じた土地(稲淵漁港物揚場、海側)の確認。

財産	議案第86号	字区域(稲淵漁港物揚場、陸側)の変更認定。
財産	議案第87号	字区域(稲淵漁港物揚場、海側)の変更認定。
賠償	議案第88号	令和4年11月の公用車による物損事故、38万円の賠償で和解。
その他	議案第89号	職員退職手当組合理約の変更協議。白石市、蔵王町、七ヶ宿町の組合が解散するため。→P.9
その他	議案第90号	職員公務災害認定委員会規約の変更協議。89号と同じ内容。
その他	議案第91号	職員公務災害審査会規約の変更協議。89号と同じ内容。
予算	議案第92号	令和4年度一般会計補正予算(第7号)。→P.9
予算	議案第93号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)。
予算	議案第94号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)。
予算	議案第95号	令和4年度市場事業特別会計補正予算(第3号)。
予算	議案第96号	令和4年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第97号	令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)。
予算	議案第98号	令和4年度水道事業会計補正予算(第3号)。
予算	議案第99号	令和4年度病院事業会計補正予算(第2号)。
予算	議案第100号	令和5年度当初予算。→P.2~7
予算	議案第108号	
発議	発議第2号	ALPS処理水の海洋放出に関する説明と風評被害対策を求める意見書の提出について→P.11
発議	発議第3号	議会の個人情報保護条例を制定。
条例	議案第109号	情報公開条例等を改正。発議第3号の関連部分を改正する。
条例	議案第110号	職員特殊勤務手当条例を改正。南三陸病院の当直医の仕組みが変わることに合わせ、医師に待機手当を支給。
人事	同意第4号	副町長の選任。最知明広副町長の任期満了に伴い、三浦浩氏を選任。→P.10
人事	同意第5号	監査委員の選任。芳賀長恒監査委員の任期満了に伴い、横山孝明氏を選任。→P.10

議員名	結果	賛成	反対	表決結果													
				伊藤俊	阿部司	高橋尚勝	須藤清孝	佐藤雄一	後藤伸太郎	佐藤正明	及川幸子	村岡賢一	今野雄紀	三浦清人	菅原辰雄		
同意第3号	原案可決	9	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

※表決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。
 ※及川議員は、監査委員のため欠席しました。

一般質問

ここが聞きたい!

一般質問は年4回の定例会でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間でおこなわれます。

議員からの通告によっておこなわれるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

11人の議員が 23件について

おこないました。

「各議員の質問内容」

- | | |
|---|---|
| 1 三浦 清人 議員…19ページ
①人口減対策、子育て支援策は
②不祥事案の再発防止について | 7 後藤伸太郎 議員…25ページ
①志中の不祥事、顛末は
②子育てタウンミーティングの開催を |
| 2 阿部 司 議員…20ページ
①相続登記義務化に町としての対応は
②治水施設や河川管理を伺う | 8 今野 雄紀 議員…26ページ
①公共施設における節電対応は
②不登校などの予防策は |
| 3 須藤 清孝 議員…21ページ
①20年続いている中高連携の成果は
②強いリーダーシップを発揮せよ | 9 佐藤 雄一 議員…27ページ
①被災箇所の整備を早急に
②万が一のライフラインの整備 |
| 4 高橋 尚勝 議員…22ページ
①総参加の町づくりを
②ILC事業招致による町づくりを
③未来道の整備を | 10 菅原 辰雄 議員…28ページ
①目指す教育は
②導入目的は |
| 5 佐藤 正明 議員…23ページ
防災・減災に向けた改良工事などを | 11 伊藤 俊 議員…29ページ
①地域防災計画
防災拠点整備について
②withコロナのフェーズにおける観光
活性化策は |
| 6 及川 幸子 議員…24ページ
①海岸インターに新道路必要か?
②婚活事業の費用対効果
③健康寿命を考えて | |

主権在民

人口減対策、子育て支援策は

町長 課題の一つと受け止めさせていたいただきたい。

問 保育料を全額無償化の考えは。

答 課題の一つと受け止めていただきたい。

問 気仙沼市より早く実現してもらいたい。

答 歯並び、噛み合わせの治療費が保険対象外。高額医療費に対し、半額助成の考えは。

問 虫歯予防でフッ素塗布の取組はしているが、歯並びの関係については実態はつかんでいない。治療状況の把握に努めていく。



子育て支援の充実を

●出生率の向上について

問 不妊治療費の保険対象外でも20万円の補助も継続した治療も含み自己負担分の医療費助成も視野に、助成事業の拡充を検討する。

問 岡山県奈義町長の政治信条は「核は常に民」

その思いで様々な独自の支援策で出生率2.95までになった。各種団体の補助金の削減、議員定数の削減、町長、副町長、教育長の報酬の見直し等、身を削る施策をしている。

問 我が町の出生率はいまだ1.40だ。出産祝い金

を増額せよ。第一子3万円から10万円、第二子5万円から20万円、第三子以降10万円から30万円に。
問 国の子育て支援策のメニューが見えていない。
答 国が動かなければ町も動かない考え方であるようなので、ぜひ団体交渉してもらいたい。

問 町村会で足並みをそろえて働きかける。
●移住定住者支援策
問 空き家を町がリフォームして無償貸し付けを。
答 大家の関係から難しい。

不正流用

不祥事案の再発防止について 町長 身を引き締めて取り組む

問 検証、反省なくして進歩はない。再発防止策で課内、係内会議は。

問 月に1回程度開催。今後とも身を引き締めて取り組む。

問 動植物対策協議会の補助金不正流用事案について、事件発覚後初めて対策協議会で「協議会にはお金がなくて弁護士も雇えないので、町が対応、処理をする」という発言が。誰が誰の指示で

問 事件発覚前に監査委

問 話したのか。
答 町が話したかは記憶にない。

問 公的な会議なのに議事録がないのもおかしい。

問 補助金を受ける対策協議会の会長、佐藤仁ではなく、補助金を出す町長へ問う。なぜ長年対策協議会が総会を開かなかったと思うか。
答 事務方の手続きの不備と思っている。

問 事件発覚前に監査委

員から3回も指摘されているが、その内容は事件前か後か。
答 後になってわかった。決裁についても職責を十分に理解し、責任をもつてハンコをついてもらいたい。

答 さらに引き締めていく。



※本文は、原文のとおり掲載しています。

懇切丁寧

「相続登記義務化」に町としての対応は

町長 法務局と連携して周知徹底を図る



「相続登記義務化」の施行日が迫りつつあるが、当町における未登記者件数の状況は。

答 固定資産台帳では土地所有者で1,266人、家屋で248人、棟数で364棟になっている。今後の周知と対応についての考えは。

答 H Pや広報紙、及び固定資産納税通知書へのチラシを活用する。

問 相続登記が進行しない要因には義務化以外の要因としては何が考えられるか。

答 今回の制度変更は行

問 地方の土地が安いため時間と費用をかけてまで相続登記をしようと思わない傾向が強い。更に遺産分割協議を行わない間に被相続人が亡くなるなどして複雑化していることが考えられる。今後の取組方法についてはどう考えているか。

答 相続人の予定者として届出すれば過料から外れることも可能である。仮登記はあくまでも仮登記であり、今、町が直面している過疎化、少子化等の問題には産業振興と経済活性化が必要であり、その「足かせ」にならなければならないのがこの相続問題でスムーズな解消が求められると思うが。

問 過料対象期限までに解消したいとの法務局の意向もある。

豪雨対策

治水施設や河川管理を伺う

町長 引き続き県と連携し機能向上を図っていく

問 砂防ダム、治山ダムの現況調査結果は。

答 砂防ダム33基は10年に1度の点検で機能上問題はない。また治山ダム66基は毎年調査を実施している。今年度は歌津地区に2基新設し次年度も継続予定である。

問 今後の治水計画及び河川管理については。

答 引き続き県と情報を共有し、適切な治水事業を行い、河川についても同様に維持管理を行う。



相続制度が改正 R6.4.1 義務化に

中高連携

20年続いている中高連携の成果は

教育長 生徒の学習意欲向上と中高の先生方の授業力向上が図られている

問 中学校の基礎学力が全国平均に近づいてきている。どの様な取り組みで成果に繋がっているのか。

答 目標や目当てを示し、授業の流れを明確にする。1単位時間で1つの授業を完結する。黒板をしっかりと分けるように構造的に利用する。この3つの取り組みを小中学校の校長を中心に授業を進め、成果として徐々に上がってきている。

問 数学と英語に関して

は例外だ。中高の間で行なわれている乗り入れ授業の成果は。

答 仙台市を除く県内市町の平均値からは、国語、数学、理科で、平均以上の成績だ。全国平均までもう少しという事を保護者や地域の方々にも分かって頂きたい。

問 高校で学び直しをする生徒が多い。中学校にも責任があるのでは。

答 教育委員会、学校にも責任はあるが、近年、高校、大学での学び直しが増えてきている。南三陸町の教育委員会として、最終的にどこを目指しているのか。

不祥事案

教育長 愚直に、誠実に、前向きに、確実に一つ一つ結果を出しながら職責を果たす

問 将来の夢や、志を叶えられる、子ども一人一人の自己実現を目指す。町が本腰を入れて高校の魅力化に取り組み始めた。

答 一人が、自らの行動を振り返り確認し、不十分な点を改める必要がある。校内における書類、現金の管理マニュアルが改訂された。職員の負担増になるのでは。

問 信頼のないところに教育は成り立たない

信頼のないところに教育は成り立たない



子どもたちにとって実のある学びを

問 今回の事案を受け、見えた課題は。

答 教育公務員としての自覚の欠如、学校内の情報管理機能の不備、管理職の管理体制の甘さが要因となった。教職員一人

問 大切な課題は。

夢・未来

総参加の町づくりを

町長 2年前倒しで次期計画に



昨年10月に皆さん南三陸道の駅のグラウンドオープンで震災復興の集大成となった。今後も持続可能な町づくりを目標に取り組んでいく。

次期南三陸町総合計画の基本構想は。

次期計画策定に向け現在、各課各団体からヒアリングを行っている。

現計画は令和7年度までであるが、計画の進み具合から2年前倒しで次期計画に入る予定だ。骨太の方針や財源等についてまだ決定していない。すべての町民がこの先16年、新たに向かう道しるべとなる計画としたい。



宇宙誕生・進化の謎の解明

宇宙の起源

町長 まずは国家プロジェクトに

ILC事業を連携した町づくりを。

ILC事業(国際リニアコライダー事業)は北上山地が建設候補地になっている。しかし巨額

な経費を要することから国家プロジェクトになっ

ていない。立ち上がったなら当町でも取り組む考えだ。

地球上の諸問題はビッグバンに立ち返って検証する必要がある。この研究施設の成果に期待したい。

まずは国家プロジェクトになることを注視したい。

事業招致に尽力を。

現在推進協議会が岩手宮城13の市と4つの町で構成され招致活動を行っている。当町は入って

災害時の避難ルート



泊崎半島の避難路はどうなる

未来道プロジェクトの方々から陳情書が出されたが、財源が見通せないため本陳情に一旦区切りをつけたところだ。

「未来道」は馬場中山地区の住民らが震災時に作った避難ルートであるが、この整備は工事が膨大で現時点では財源的に困難である。

現在泊崎半島線を改修中である。

自衛隊ヘリにより救助、物資搬入も視野に。

今後の課題としたい。

馬場泊浜各契約会、

防災・減災

防災・減災に向けた改良工事などを

町長 現状を再確認し防災・減災に努めていく

近年の異常気象により、3年間に2度の災害が発生している事から、災害防止や減災を考えるには、現状を再確認し改良工事なども考えていく必要があると思うが。

原形復旧が原則となり、従前の効果を復旧するもので、元どおりの復旧が適切でない場合や困難な場所は、形状、構造など質的な改良を実施する。今後も頻発する自然災害に備えるべく、各施設

の現状を再確認し、防

災、減災に努めていくとともに、被災した場合の施設復旧は、箇所や状況に応じた対応の考えである。

復旧工事の遅れで、農作業に影響が出ないか。

地権者の方々と協議を行いながら、耕作後の復旧も検討している。

2度の豪雨で被災している施設がある事から、今後の考えは。

台風19号の災害復旧は4年度で全て完了、7月の豪雨災害は国の災害査定を受け、発注手続きを行っている状況である。それ以外の復旧は地方債

による復旧工事、現在各所で施工している。

町道内の木橋が台風19号の影響で落橋状態のまま、地域では不便を期



早期復旧を

している、今後の考えは。災害査定で構造や詳細等が不明のため認められなかった。復旧について現在、検討中である。

町の施設であるせせらぎ美土里公園、2度の豪雨で被災を受けている。復旧の考えは。

公園の利活用を考えたいくには、復旧するた

めの課題が多くあり、検討を重ねているところである。命・くらしを守る国土強靭化事業が前倒しされている。指定された土砂災害危険区域に国土強靭化対策事業の考えは。

土砂災害から命及び身体を守るために災害の恐れのある区域について

いないが側面からしっかりと支援をしていく。

避難ルート

「未来道」の整備を

町長 財源確保が困難

は、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進し、ハード事業による対策は財政面から考え限界がある。

入谷の童子下地区の土砂災害危険区域、県の調査は終了していると思うが、調査結果は。

砂防事業を計画、令和5年に工事発注、7年度の完成を予定している。

法定外公共物の里道や用排水路は町に譲渡されている事から、適正な維持管理のために管理規定や条例等を制定し、防

災・減災に努める必要があると思うが。

法定外公共物は歴史的に地域の共有財産としての性質を有し、利用の適性を図るためにその管理に関し、必要な事項を定めている。

豪雨時などは、法定外公共物(里道・排水路等)の維持管理が行われていないために、被害が発生していると思うが。

軽微な被災や日常の維持管理は、利用する地区の方々の協力を得ながら実施したい。



土砂災害危険箇所

道路問題

海岸インターに新道路必要か？

町長 大型車両の渋滞を緩和



震災で被災した道路整備の進捗状況は。



町道は令和3年度で

改良はないが、維持管理はしていく。

町道大上坊米広線の橋の欄干が無いで危険

である。ガードレールでも危険防止出来ないか。

ガードレールをつけられる形態でないで難しい。

歌津落沢線は工事車両の往来で路肩や側溝が壊れた。地区では町に再三要望もしたが、今だ未整備である。

改良はないが、維持管理はしていく。

工事車両が壊したのが、明々白々である。復興予算に上げない理由は、道路がそれぞれ出来るとの話しが消えた訳は。

復興予算の採択は3か所で、落沢は採択ならなかった。

町は戸倉線・横断1号線・平磯線・蒲の沢線清水団地東線・枅沢団地東線の6路線を国に対して災害復旧工事であるの予算要求したのに、枅沢

と清水が抜けたのか。表現が的確でないが事業が認められなかった。

この団地には2本の道路がそれぞれ出来るとの話しが消えた訳は。

清水行政区から要望書があったが、勾配が取れなくて復興庁から認められなかった。

平磯線は避難道として災害復旧工事であるの予算要求したのに、枅沢

総交に代わって延長されているが詳細は。

全長1・9km9億円。社総交分が7億円である。

これが開通すると蒲の沢線と現道と3本が国道に接合になる。生活道路を優先整備すべきでは。

5年度事業で残り1億数千円計上している。

沼田から平磯線に接合する生活道路を優先すれば少額で済むのでは。

45号の現道で信号待ちすると大型車両で渋滞する懸念がある。沼田の生活道路は維持補修で。

※社総交とは：社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとつて自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

沼田から平磯線に接合する生活道路を優先すれば少額で済むのでは。

45号の現道で信号待ちすると大型車両で渋滞する懸念がある。沼田の生活道路は維持補修で。

※社総交とは：社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとつて自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

沼田から平磯線に接合する生活道路を優先すれば少額で済むのでは。

45号の現道で信号待ちすると大型車両で渋滞する懸念がある。沼田の生活道路は維持補修で。

※社総交とは：社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとつて自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

沼田から平磯線に接合する生活道路を優先すれば少額で済むのでは。

45号の現道で信号待ちすると大型車両で渋滞する懸念がある。沼田の生活道路は維持補修で。

結婚環境

婚活事業の費用対効果

町長 コロナ禍で実績なし

毎年婚活事業に委託しているから貸せないでいるのではないかと懸念があるが、成果が出ているのか。

ここ2、3年コロナ禍で残念ながら成婚無。

町内企業に200人の海外研修生が就労している。婚活に参加して頂いては。

皆さんは一定期間の滞在なので難しいのでは。

年々空き家が増えているが、家財道具が入っ

健康寿命を考えると

町民の健康寿命を延ばす施策を聞く。

基本理念「心も体も健やかでおどつて、笑顔あふれる町南三陸」。

健康の分析結果は。

乳がんは3%大腸がん3、3%とアップ。

医療データを使いながら健診等に生かしたい。

健康寿命を考えると

町民の健康寿命を延ばす施策を聞く。

基本理念「心も体も健やかでおどつて、笑顔あふれる町南三陸」。

健康の分析結果は。

乳がんは3%大腸がん3、3%とアップ。

医療データを使いながら健診等に生かしたい。

健康寿命を考えると

町民の健康寿命を延ばす施策を聞く。

基本理念「心も体も健やかでおどつて、笑顔あふれる町南三陸」。

健康の分析結果は。

乳がんは3%大腸がん3、3%とアップ。

医療データを使いながら健診等に生かしたい。

無事解決

志中の不祥事、顛末は

教育長 丁寧に謝罪し、生徒に寄り添っていく

昨年末、志津川中学校で通信票や作文などが紛失した。生徒の悲しみやショックはいかばかりか。保護者へは説明会を開いたとのことだが、生徒への対応は。

当該学年の生徒全員の前で謝罪した。涙を流す生徒もあり、少なからず動揺があったと思う。

この事案により不登校になるなどの影響は。

長引くような状況は見られない。

心のケアは。

2名のスクールカウンセラーによって全校生徒の面談をおこない、丁寧に対応している。

紛失したものは復元できたのか。

シュレッダー処分してしまった作文はコピーも取っておらず復元できなかった。通信票などデータが残っていたものは新しく作成するなどした。

復元できたからいいというものではなく、どんな書類にも人の思いがある。このような事が起こると、他の書類は大丈夫か、他の学校では大丈夫かと不安が広がる。重く受け止める必要がある。

警察の捜査は入らず学校内の問題として対処できたこと、個人情報の流出は無かったことは不幸中の幸いだった。関係者の処分等は。

県教委が決めることだが、しっかりした措置が必要。ただ、当事者が思い詰め過ぎてしまわないよう、家族も含めて連絡を取り合っている。

再発防止策としてマニュアルが改訂されたが、重要書類はきちんと管理するという当然なべきことができていなかっただけという事案。大切なのはマニュアルよりも、一人ひとりが責任をもって職務にあたること。信頼回復のために誰かの顔色を伺うようなことはせず、生徒に寄り添って行動していく。その先にしか信頼回復の道筋はない。生徒が安心して学べるよう、教育委員会も全力でサポートしていく。

町長の出前トークという事業がある。明るい雰囲気作りを努めるのでぜひ活用してほしい。

子育てしているママ

「異次元の少子化対策」と言っているが、本来これは国でやるべきこと。地方任せにせず、もっと力を入れてほしいと思う。



再びの飛躍を期待

子育て支援

子育てタウンミーティングの開催を

町長 意見交換できる場を設ける

子育て世代の不安や要望を直接聞く場を設けてほしいが。

子ども基本法も施行される。意見交換する機会には必要だ。行政の土俵でやること、家庭でやるべきこと、その落としどころを探ることが大切。

双方が建設的に話せる空間を演出する必要があると思うが。

町長の出前トークという事業がある。明るい雰囲気作りを努めるのでぜひ活用してほしい。

子育てしているママ

「異次元の少子化対策」と言っているが、本来これは国でやるべきこと。地方任せにせず、もっと力を入れてほしいと思う。



昨年、志津川中学校で通信票や作文などが紛失した。生徒の悲しみやショックはいかばかりか。保護者へは説明会を開いたとのことだが、生徒への対応は。

当該学年の生徒全員の前で謝罪した。涙を流す生徒もあり、少なからず動揺があったと思う。

この事案により不登校になるなどの影響は。

長引くような状況は見られない。

心のケアは。



ぜひ楽しく語らえる場を

節電対策

公共施設における節電対応は

町長 ウォームビズの実施、OA機器の取り扱いで



問 一般家庭では、電気代が8万円になった、何万円になったという声がある。役場も同じ痛みを共有する必要があるので

の計上か。
答 一般会計全体では、4年度は約1億円で、今年度は電力の値上げを見込んで1億4,800万円を計上した。

問 公共施設の維持管理費は増加傾向にある。昨年11月30日付で総務・企画課長の連名で、全職員に節電の徹底を通知した。

答 値上げ幅をそのまま計上するのではなく、幾らかでも節電なりの対応としての心構えが必要ではないか。

問 総務費の光熱費が、今年度2,000万円計上されており、昨年は1,000万円だったが、節電対策を考慮した上で

答 残念ながら節電効果を表した予算計上にはなっていない。あくまで見積りであり、決算でその結果がでてくる。
問 指定管理者への節電対応、要請は。
答 連絡・調整して同様の取り組みを求めてゆく。
問 一般家庭への補助という観点から、UPZ圏内の家庭に設置自治体だけではなく、周辺自治体にも恩恵を受けるといふ対応も必要ではないか。

7月豪雨災害

被災箇所の整備を早急に

町長 町の補助事業を活用し復旧を検討したい

問 昨年7月豪雨で頭首工付近の水路に水を取り込むことができない状態の箇所の復旧を町ではどのように考えているか。

答 災害復旧等の対象とならないものについては、各農家で自力復旧をするための経費を補助する。
問 自力復旧と言われているが、高齢者にとっては大変な仕事だと思いませんか。
答 請負復旧の場合上限は10万円、直営でやる場合は上限5万円。例えば原材料費とか、土砂を処理するための重機代補助

問 被災箇所は何件か。
答 2月末現在で、入谷地区10件、志津川・歌津地区で各1件の計12件。

問 5万円補助となる。止水板を抑える中間柱も取り壊されている状態で、水も取りいれできない状態になっているが、占有物件については占有者でしっかり管理していただくよう、河川管理者の立場でそれらについては手伝いできかねる。
問 止水板の取り付け分は、各組合でやるという

問 何とか時期に間に合う対応が出来ないか。

答 生活する上で水道は必要不可欠と考えるが、停電時のライフラインの確保は万全か。
問 災害に強い水道施設の構築を念頭に施設を整備した。有事の際の支援体制も整備した。
問 途中にある中継ポンプ等々は大丈夫か。



7月豪雨被災した頭首工の現況

問 先日、UPZの首長会議があり、核燃料税が立地自治体にしか出ていないということ、我々

も避難訓練等しており、分の分配をすべきとした。5月ごろ県に要望に行く。知事も、県議の同様の一般質問で、前向きな答弁をしている。

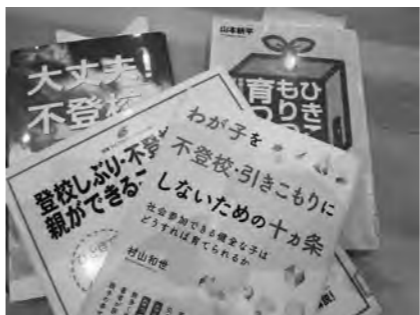
Gセブン

不登校などの予防策は

教育長 「行きたくなる学校づくり」「南三陸町子どもサミット」で

問 4月から子ども家庭庁が動き出す。所信表明にもうたわれた「子ども

をあげている。教職員だけでなく児童生徒にも考えてもらう場として、町立小・中学校児童生徒会代表者会議、通称Gセブン、南三陸町子供サミットを開催する予定だ。
問 不登校の主な原因は、学校教育の場だけの問題ではなく、幼児保育・教育の場からも不登校になりやすい予防にもなる子育て環境整備・支援も必要ではないか。不登校にならないための予防的取り組みは。
問 令和3年度からは県の指定を受けずに、町独自で「行きたくなる学校づくり」推進事業で成果



問 不登校の主な原因は、小学校だと、親子の関わり、不安等の情緒的
問 不登校の予防策は、難しいが、学校の中での居場所づくりが大切だ。
問 子育て支援で経済的な給食費無償化も大切だが、図書館には赤ちゃん関連は100冊近くあるのに、ひきこもり・不登校関連は2冊だけだ。昨年10月に刊行された「わが子を不登校・引きこもりにしないための十ヶ条」という本なども、ぜひ蔵書にすべきではないか。
問 必要だと認識している。図書担当と検討する。

ような理解でよいのか。
問 はつきり言って制度上そうなる。できるだけ自己管理をして

いただきたい。具体的にいたっては町に遠慮なく相談していただきたいと考える。
問 災害時の際は全域とは言えないが、一部の部分的な応急復旧についてはおこなうことになる。
問 水堀ルートを新設し近隣の自治体と一緒に今後の災害対策に役立てるような考えはないか。
問 一度経験したことなので、電力と可能なのかを話すことはやぶさかではないと思う。
問 入谷地区に水源の計画はないか。
問 調査したが賄えるほどの水源量がないとわかり断念した。
問 どのくらいの水量があれば足りるか。
問 一日の使用水量は、6,000t、現在の主要水源3箇所を合わせると7,300tの水量がある。
問 今後の水堀ルートの働きかけは。
問 可能かどうか話をする。これはやぶさかではないと思う。



志津川全域と入谷地区の送電を守る志津川変電所

ライフライン

町長 重要性を認識し災害に強い水道事業運営を心掛けていく

問 生活する上で水道は必要不可欠と考えるが、停電時のライフラインの確保は万全か。
問 災害に強い水道施設の構築を念頭に施設を整備した。有事の際の支援体制も整備した。
問 途中にある中継ポンプ等々は大丈夫か。

問 規模にもよるが半日から一日持つ容量は備えている。
問 次に電気について伺う。新井田に変電所があるがトラブルが起きた場合、町と電力とで話し合いはされているのか。
問 電力の所掌の部分になるため何とも言えない

教育現場

目指す教育は

教育長 生き抜く力の育成・郷土愛の醸成へ



は綿密にやり取りをして
いる。

問 学校の施設整備は町で行い、管理運営は学校長が行うことで、教育委員会と学校との壁は感じられたか。

答 壁もなく、何もなく教育委員会の指導を待つものの学校運営もいかなものか。教育委員会では、国・県・町の方針を伝えて、その範囲内で学校運営は校長が責任をもつて思い切り学校経営をしてほしい。

問 教育長の目指す教育の在り方は。

答 教育基本計画の基本理念に基づき、各学校の特色を生かした教育課程に基づき、社会を生き抜く力の育成・郷土愛を醸



高台に建つ校舎

問 町では、2年間の試行期間を経て、令和5年度から本格導入する人事評価制度と目的は。

答 この制度は、単に人物を評価するのではなく、任用・給与・分限などの人事管理の基礎資料として反映させることや、人材育成、組織としてのパフォーマンス・職員の士気向上を図り適正な人事異動にも生かす。

問 制度の導入についての説明や理解は十分か。

答 制度を理解することが大事だ。昨年7月に制度に関するアンケートを取り、11月に人事評価研修を実施。評価者研修に53人、被評価者研修に67人参加している。

人事評価

導入目的は

町長 人事管理の基礎資料に
適正な人事異動にも生かす

問 以前は、評価者もよく理解できなく、恣意的な評価もあったと聞くが、1年経過して改善されたのか。

答 5年の2月末から3月当初に、全ての部署で目標設定シートの達成具合、人事評価が提出され、人評が以前より評価のばらつきは解消されている。

防災計画

地域防災計画・防災拠点整備について

町長 適切な更新を図りながら防災力向上を図る

問 地域防災計画の見直し、検討計画は。

答 国や県の計画更新を踏まえ、必要に応じて対応していく。

問 防災拠点の新たな整備や改善更新の考えは。

答 新たな整備は無いが、改善や更新は公共施設等総合管理計画に基づき適切に進めていく。

問 役場とベイサイドアリーナの災害時における役割は明確になっているか。

答 役場はあくまで災害



今後も防災拠点の整備更新を

対策本部の拠点であり、ベイサイドアリーナが避難所となる。

問 歌津地区では総合支所が防災拠点の役割を果たす施設であるが、整備状況は十分であるか。

答 非常時に稼働できる整備はこれまでも進めてきている。

問 宮城県の緊急消防支援隊受援計画でも平成の

森は宿营地として想定されている。防災の観点としても照明設備は必要ではないか。

答 必要性はあるが、整備財源をどうするかが課題である。

問 防災やスポーツ振興だけでなく他の分野でも補助制度を探したり、民間会社との連携協定は考えられないか。

答 インバウンド観光の推進で台湾をターゲットにするのが効果的であ

観光活性化

町長 域内連携と域内循環型を確立する取組を進める

問 いろいろな可能性は探っている状況を理解いただきたい。

答 防災士資格の取得助

問 選ばれる観光地になるための南三陸のブランドイメージは。

答 「会いたい人がいること」である。

問 町全体を周遊させていく仕組みづくりは。

答 物理的には車での移動が現実的であり、立ち寄りやすい施設、場所があることが重要と考える。

問 車以外の手段で周遊できる仕組みづくりはできないか。

答 デマンド型交通も新たに取組むが、観光に活用することは先の課題と捉えている。

問 インバウンド観光の推進で台湾をターゲットにするのが効果的であ

南三陸でまた会いましょう



「会いたいひとがいる町・南三陸」

携や、もう少し人数が増えてくれば情報交換の場を設けたり、組織化も含め検討していきたい。

問 南三陸高校との交流は今後進むか。

答 コロナ前から交流については学校交流が条件。

問 コロナ前は多様化しており、宿泊部会の中で出てくるアイデアに期待し、後方支援していきたい。

問 ニーズは多様化しており、宿泊部会の中で出てくるアイデアに期待し、後方支援していきたい。

問 観光におけるクリエイターの発掘、育成について施策検討は。

答 マネジメントも含め人材発掘や育成についても町として継続的に取り組んで行く。

議会運営委員会

先進地に倣い、活発な議会へ

令和5年2月8日、神奈川県茅ヶ崎市議会にて、議会運営及び議会基本条例等に関する事項について、議会事務局職員から聞き取り調査をおこなった。

調査の概要

視察研修に先立ち、復興支援としてのべ11名の職員を派遣していただいたことに対しての表敬訪問をおこない、佐藤市長や元派遣職員の方々に手厚く歓迎していただいた。変わらぬ絆を再確認したところである。

視察にあたっては、数々の先進的な取り組みがある中で、
①決算審査での事業評価
②自由討議
③政策討議
④議会基本条例の検証・改正
⑤一般質問の重複
という5つについて特に詳しく調査した。

①決算における事業評価は、結果を翌年度の予算に反映させることまでがセットになっていることと意義と効果が明確であった。

また、③政策討議については、常任委員会ごとにテーマを選定し時間をかけて調査研究をおこない、最終的には議会から市長への政策提言書に昇華させており、見習うべき点も多く感じられた。

当委員会ではこれらの取り組みも参考にしつつ、②委員会における自由討議の実施によって、論点や争点を明らかにして委員間での合意形成を図ることができないか、また、④議会基本条例に則った議会運営について検討し、運用について見直す必要がある点がないか洗い出す作業をおこなうこととするため、引き続き調査・検討することとした。

調査の目的

当町議会では、議会における最高規範である基本条例制定から5年が経過している。その検証も含め、町民の負託に応える議会として、議会機能をさらに発揮するための方法、議会の適正かつ円滑な運営等について調査をおこなうものである。



総務産業建設常任委員会

移住定住策で地域の活性化へ

令和5年2月20日、地方創生戦略における移住定住事業について、企画課職員から聞き取り調査を行なった。

調査の概要

当町における移住定住策は6事業で展開されており、平成28年8月以来、移住件数、人数ともに年々増加傾向にあり、移住定住を視野に検討している方々の関心の高さと事業の成果が伺えた。ニーズの多様化に対し様々な業務にて柔軟に対応している一方で、お試し移住事業においては、制度化するにあたり慎重さを求められる事例もあ

るという現状であり、今後の取り組みについては注視したいところである。

移住定住はゴールではなく、実際の活動状況および生活状況における地域との関わりが、地域の活性化につながるものとなっているか、確認する必要があることから、継続調査とする。

民生教育防災常任委員会

安全・安心な町へ消防水利を調査

令和5年2月21日、町の消防防災施設の整備状況について、担当職員から聞き取り調査をおこなった。

調査の概要

長野賞を受賞している。消防防災の中核的役割を担う消防団の現団員数は417名であり、令和4年4月に報酬額を引き上げたが、定数(450名)には達していない。班の統合なども視野に、再編を考える時期に来ているようである。施設については、老朽化する消防屯所の建て替えなどが検討

されている。また、町内には消火栓が241カ所、防火水槽が206カ所あるが、山間部など十分に行き届いていない地域も多くあるため、令和5年度に消防水利希薄地域の抽出業務を予定している。

様々な自然災害への備えを充実させていくことが喫緊の課題でもあるため、継続調査とする。

調査の目的

今年2月に起きたトルコ・シリア地震など、地上から災害はなくなる。だからこそ我々は、防災・減災について不断の検討を重ねていかなければならない。当委員会では、自然災害に対する防災対策について、調査、検討する。

常日頃からの訓練、お疲れ様です



わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「若い世代を追い払う町」

志津川袖浜 遠藤 悠生さん

若者を呼び込んでいる割に、この町は若者を止める点において何もしていないと思います。若者が息抜きできる場所が全くと言っていいほど無いです。飲食店で例えるなら観光客向けの観光客からしても高すぎる料金の料理を出している店ばかりで正直、子どものお小遣いやアルバイト代で行くにはハードルが高すぎると思います。娯楽施設やイベントに関して、例えばカラオケボックスがあれば若者はもちろん、ご高齢の方々も暇つぶしや息抜き、ストレス発散に利用できます。イベントは現状コロナ禍で難しいですが、それでも町内に住んでいて耳に情報が入らないのは如何なものかと思います。このように何も無い町に若者は残りたい、来たいと思う若者は少ないと思います。

議会から

若者たちが住みづらい、定着しづらいという率直な思いが強く込められたタイトルと受け止めました。お話を伺えば、県外のご友人等の目線から見えた感想が含まれているとの事でした。娯楽を求め、町外へ足を運び、休日を通ぐ若者たちがいる現状を議会としても把握しております。あらためて向き合わなければならぬ課題がある事に気づかせて頂くきっかけとなりました。貴重なご意見をありがとうございます。

娯楽を求め、町外へ足を運び、休日を通ぐ若者たちがいる現状を議会としても把握しております。あらためて向き合わなければならぬ課題がある事に気づかせて頂くきっかけとなりました。貴重なご意見をありがとうございます。

ライブ映像配信中!



次回の本会議は6月開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。

議会開会中はパソコン・スマホから、リアルタイムでご覧になれます。
配信映像はこちらから↓



編集後記

新年度予算の審査を中心に、いつもより多めのページ数でお送りしました。より正確に、より多くのことを、と欲張って文字数が多くなりがちですが、これからは読みやすい誌面を目指して、工夫していこうと思います。5月。新しい環境での生活にも馴染んできた頃と思います。コロナによって抑制され続けてきた生活も、少しずつ変わってきています。今回可決した予算で町民のみなさんの暮らしがもっと良くなるよう、行政による執行をしっかりと見ていこうと思えます。そしてその議会や議員の発言、行動を、みなさんにしっかりと見ていただければと思います。後藤伸太郎

議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 須藤 清孝

委員 佐藤 雄一

高橋 尚勝

阿部 司

伊藤 俊